

自分たちが作った製品を販売する南山城支援学校高等部の生徒ら(木津川市相楽台・イオンモール高の原)



手作り製品 心込め販売

木津川で南山城支援学校生

南山城支援学校(精華町山田)の高等部の生徒たちが作った製品の販売会が6日、木津川市相楽台のイオンモール高の原で始まった。生徒自ら店頭に立ち、丁寧に仕上げた木工芸や陶器などを買ったお客にアピールした。

学習として毎年行っている。高等部1〜3年生が作った66種類計約900点の製品を販売する。

木工のペーパーホルダーや、花びらの入った手作りキャンドルと陶器の受け皿のセットといった新商品、自分たちで育てた綿を染めて織ったコースターなど、どの定番品を店頭に並べ、午前10時の開店後すぐに売り切れる商品もあった。

1年山川凜さん(16)は「気持ちを込めて売りたい。自分で作ったものを大切に使ってもらいたい」と話していた。7日もある。午前10時から午後2時まで。

地域とつながる販売

(逸見祐介)